

11/
13・14

総務常任委員会 行政視察報告

管外行政視察

茨城県つくば市において、「つくばスーパーサイエンスシティ構想」についての行政視察調査を行いました。

つくば市では、大学・研究機関、民間企業、住民が参画・連携し、住民の困りごとに対して大胆な規制緩和や、先端的な技術・サービスを実装しながら課題解決を目指し、インターネット投票など最先端のサービスをまちの中で実証実験する取り組みが進められています。

最先端サービスには、「移動・物流」、「行政」、「医療」、「防災・インフラ・防犯」、「デジタルツイン・まちづくり」および「オープンハブ」の6つの分野があります。まちの中心部と周辺部を結ぶモビリティネットワークや荷物搬送ロボット、ドローン等による買い物の利便性向上などの取り組みについて説明を受けました。

最先端サービスの実証実験を通して、課題や改善点の発見、裏付けとなる客観的事実を収集

されている途上にあり、今後、国と調整しながら法の改正や制度改革が必要となってくるものもあります。今すぐの実用化は難しいと思われませんが、山間地域を広く含む高島市では、ドローン等による買い物の利便性向上や移動スーパーの高度化、インターネット投票などの取り組みが住民の利便性向上につながる可能性が大きく、今後の動向を注目し、市の施策に活かしていけるよう、引き続き、調査・研究していきたいと考えます。



その他の視察先：株式会社プラゴ（東京都品川区）

「EV社会を見据えた、グリーンロードプロジェクトの取り組みや自治体（埼玉県長瀬町・長野県小布施町・長野県軽井沢町）との連携等について」

10/16

総務常任委員会 行政視察報告

管内行政視察

政策部危機管理局から「災害時における警戒体制や現場の現状把握・情報共有」について説明を受け、意見交換を行いました。

災害が大型化・激甚化する中で、実効性のある防災対策や災害対応となるよう、課題や反省点をしっかりと検証し、職員の災害対応能力を向上させ、防災体制の整備・見直しを随時行うことが重要だと感じました。

有事の際に迅速・的確な災害対応が行われ、市民が安心して生活できる基盤を構築できるよう働きかけていきたいと考えます。

